



日本文化史・茶道史 研究者
くまくら いさ お
熊倉 功夫さん

文化庁
京都へ

For Cultural Affairs moving to Kyoto

文化の
ココロ

北区を拠点に、日本が誇る様々な伝統文化や芸術の伝承・創造に活躍される方々をご紹介しますシリーズ企画「文化のココロ」。今回は、北区在住で、国立民族学博物館・名誉教授の熊倉功夫様に、寄稿文をお寄せいただきました。



葵祭の行列に参加する方々は、双葉葵を身につけることで、全身が清められていることをあらわします

新町・油小路かいわい

北区役所の玄関脇に、双葉葵が元気にたくさん繁茂しているのをご存知かと思います。これは上賀茂神社が中心になって進めているNPO法人葵プロジェクトにご協力いただいている証です。

5月15日の葵祭は京都三大祭（葵祭・祇園祭・時代祭）の中でも最も長い伝統をもつ祭です。祭に参加する人々は皆、葵の葉を頭に挿し清められた姿をあらわします。ところが近年、自然環境の変化のため山中の葵の群生地が減り、祭に支障をきたす事態となりました。そこで神社では、個人・団体を問わず葵の苗をお分けし栽培をお願いすることになりました。そして育てられた葵を祭の前に奉納していただき、葵祭にそなえるというのが、このプロジェクトなのです。



北区役所本庁舎 中央
出入口そばに生育する
双葉葵。ハート形の
葉が特徴です

この会の理事長を長年お務め下さった芳賀徹先生（京都造形芸術大学名誉学長）がお亡くなりになる直前、このプロジェクトを引き継いでほしいとの最後の一言で、不肖私が今その理事長を務めている次第です。これも北区に住まいすご縁です。

私は関東の人間で、今年で京都に来て50年を過ぎました。28歳の時、就職して初めて京都に参りました。その時、下宿したのが小山上板倉町で、何となくこの街並に惹かれて、途中一時関東に戻りましたが再び京都に家を求めた時、この界限で家を見つけて住み始めてから、30年になります。

ご近所にはかつて西洋史の京都大学名誉教授前川貞次郎先生や、石造美術研究の川勝政太郎先生の旧宅がありました。北大路より北なのに整然とした通りが碁盤の目になっている理由は、油小路に面した紫野柳公園に行ってみて分かりました。このあたりの大々的な土地区画整理事業が昭和8（1933）年に完了したことを記した、立派な「洛北中部五地区土地区画整理碑」が建てられています。

こうして整理された土地を市中の方が買って、家賃収入を得るために建てた家がこのあたりにたくさん残っていました。面白いことに皆同じ間取りで、かくいう私もそうした一軒に住んでいます。



新任のご挨拶

かわつま み え
北区長 **川妻 聖枝**

この度、北区長に就任しました川妻聖枝でございます。

北区は自然や文化資源が豊富なまちであるとともに、区民の皆様が“つながり”を大切にされ、多くの方が積極的にまちづくり活動をなさる、自治意識の高いまちだと存じます。

今年度は、昨年8月に策定した「北区基本計画～“つながり”の力で進めるまちづくり～」に掲げる取組を本格的に実行していく重要な年です。

永年にわたり培われてきた北区の「地域力」を最大限に発揮し、いつまでも暮らしやすく、魅力あふれる北区のまちづくりに全力で取り組んで参ります。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

問合せ 地域力推進室 企画担当 ☎432-1199



紫野柳公園内に建立されている
「洛北中部五地区土地区画整理碑」

視覚に障害のある方を対象に点字版・文字拡大版・テープ版・CD（デージー）版も発行。【問合せ】広報担当（☎ 222-3094 FAX 213-0286）